

# トルコ為替週報

2021年6月22日 | みずほ銀行欧州資金部

## ＜過去1週間の動き＞

USD/TRY: 8.4500～8.7950  
TRY/JPY: 12.53～13.01 (参考値)

過去1週間のトルコ・リラ相場は、下落。頭打ちから軟調に転じるとは予想していたものの、ここまで一方的に下落したのは予想外だった。対ドルでのリラ安進行には、米連銀利上げ前倒し観測を背景としたドル全面高の側面もあったものの、リラ固有の下落要因も明確に存在した。ひとつはエルドアン大統領とバイデン米大統領の会談(14日)が期待外れに終わったこと。米軍撤退後のアフガニスタン治安維持にトルコ軍が進駐するなど、一定の成果もあったし、そもそも多くは期待されていなかったはずだが、リラの反応ははっきりと失望。とりわけ、両国間の最大の懸案であったロシア製ミサイルシステム配備に関し、エルドアン大統領が「トルコの方針は変化ない」などと言い切ったことが失望を買ったようだ。17日のトルコ中銀金融政策委員会の政策金利(1週間物レポ金利)19.00%据え置きも市場の予想通り。声明の文言は少なからず鷹派寄りに修正されており、「現行姿勢を維持」→「現行引き締め姿勢を維持」+「断固として(decisively)」との文言の復活など)市場が物足りないと思う要素はなかったようと思われたが、リラはするすると続落した。

## ＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
6/15	8:00	財政収支(TRY)	5月	-13.4bn	-16.9bn	
6/17	11:00	1週間物レポ金利		19.00%	19.00%	19.00%

(\*予想はブルームバーグ社予想中心値)

## ＜向こう5週間の見通し＞

(6月22日～7月26日)

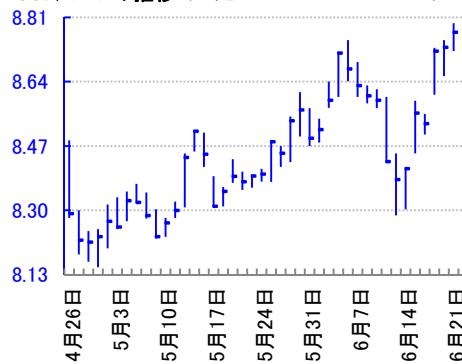
USD/TRY: 8.650～9.100  
TRY/JPY: 12.00～13.00

向こう5週間のトルコ・リラ相場は、軟調を予想。この間のリラの値動きは、結局、材料(米土首脳会談/トルコ中銀金融政策委員会)がどうであれ、リラ売りがリラ買いを凌ぐ構図を浮き彫りにした。経常赤字の穴埋めに恒常的なリラ売り需要が存在する一方で、リラの買い手が不足しているということだ。米土首脳会談に期待してリラを買い上げた人たちのほとんどはトルコ居住者たちで、おそらく、同会談が失望に終わったからと言ってリラを売るわけにはいかない立場の人たちだったのではないかろうか。エルドアン大統領が「7月か8月には利下げ」が始まると宣言した以上、トルコ中銀(カブジュオール総裁)の正念場は8月12日の金融政策委員会になるはず。言い方を変えれば、8月12日まではトルコ中銀金融政策動向は市場の材料にはなり難いはず。今は百の議論よりもひとつの行動が見極められる時と位置付けられるからだ。勿論、利下げを示唆するような発言があれば話は別だが、①5月末に導入された特別燃料物品税(OTV)引き上げ ②昨年5～7月のリラ堅調(対ドルで横這い)のベース効果 ③国際市場における資源価格上昇など、8月12日までに発表されるCPI(6、7月分)が利下げをし易くする可能性は低い。もうひとつ警戒しておきたいのは、本日(21日)から始まったはずのクルド人政党国民民主主義党(HDP)閉鎖を巡る憲法裁判所審査。ここもとトルコ政府の強硬姿勢からは「国際世論を顧みない」姿勢がにじみ出ているようにも感じられるが、その延長線上の可能性として、国内の治安悪化などに一抹の不安を拭えないでいる。

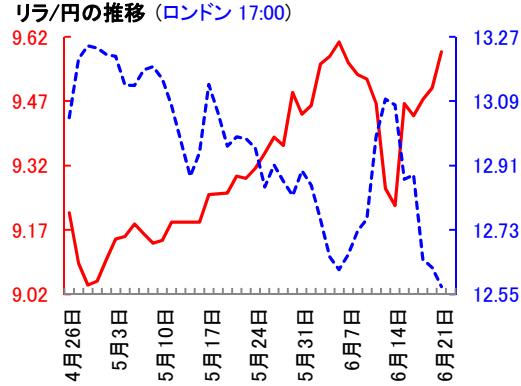
## ＜向こう5週間に発表予定の主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
6/24	7:00	設備稼働率	6月		75.3%	
6/25	8:00	外国人観光客(前年比)	5月		+3162.0%	
6/30	7:00	貿易収支(USD)	5月		-3.06bn	
7/5	7:00	CPI(前年比)	6月		+16.59%	
7/9	7:00	予想インフレ率(12カ月)	7月		+12.12%	
	7:00	経常収支(USD)	5月		-1.71bn	
7/12	7:00	失業率	5月		13.9%	
7/13	7:00	鉱工業生産(前年比)	5月		+66.0%	
	7:00	小売売上高(前年比)	5月		+41.7%	
7/14	11:00	1週間物レポ金利			19.00%	
7/16	8:00	財政収支(TRY)	6月		-13.4bn	
7/26	7:00	設備稼働率	7月			

## USD/TRYの推移 (日足/ロンドン 7:00～17:00)

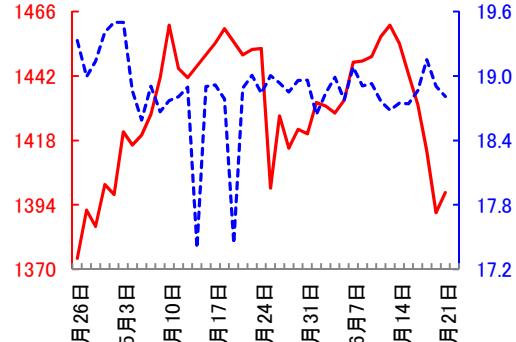


## バスケット/リラの推移 (トルコ中銀公示)



## 株式市場の推移 (ISE 100種指数)

## 長期金利の推移 (5年スワップ金利)



(資料: トルコ中銀/トムソンロイター/ブルームバーグ)

## トルコ関係主要経済指標

1週間物レポ金利	19.00%
成長率(GDP/前年比)	Q1 +7.0%
失業率	4月 13.9%
消費者物価(前年比)	5月 +16.59%
鉱工業生産(前年比)	4月 +66.0%
小売売上高(前年比)	4月 +41.7%
貿易収支(USD)	4月 -3.06bn
経常収支(USD)	4月 -1.71bn

## ＜お知らせ＞

筆者休暇のため次回の「トルコ為替週報」は7月27日の発行を予定しております。ご迷惑をお掛けし大変申し訳ありませんが、よろしくご諒承ください。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。